



日立の四季<sup>®</sup> 写真:日立港花火大会(日立市提供)

## ふるさと日立検定 問題に挑戦!

問

日立港は平成20年(2008年)に常陸那珂港、大洗港と統合されて『茨城港日立港区』となりました。日立港は久慈川河口にあった久慈漁港の釜坂沖への移設と商港としての整備から始まりましたが、第1埠頭が完成したのはいつですか。(答えは6ページへ)

- ①昭和21年(1946年)    ②昭和34年(1959年)    ③昭和53年(1978年)

## CONTENTS

■第144回通常議員総会	2	■リレー随想(割烹いな橋)	7
■令和4年度に実施した主な事業	3	■会議所インフォメーション/素顔	8
■常議員会/地域包括連携に関する協定書を締結	4	■相談所だより	9
■商工会議所の動き	5	■国・県・市等からのお知らせ	10~11
■ふるさと日立検定 答えと解説	6	■日商コラム/言葉の力	12



発行所 ● 日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2  
 発行人 ● 鈴木昇 購読料 ● 200円(購読料は会費の中に含まれています)  
 TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <https://www.hitachicci.or.jp/>

日立商工会議所 検索



## 第144回 通常議員総会を開催



### 令和4年度事業・収支決算を承認

7月26日、ホテル天地閣で令和4年度事業と一般・特別会計の収支決算を承認する第144回通常議員総会を開催しました。

当日は秋山会頭はじめ役員・議員97人（内、委任状提出者54人）が出席しました。

### 会員企業の経営安定と地域振興に向けて部会・委員会活動を中心に展開

総会は秋山会頭の挨拶（別記）に続き、小川春樹日立市長、蛭田三雄日立市議会議長の祝辞の後、秋山会頭が議長となり議事に入りました。

令和4年度事業報告では、『新時代で躍進』をスローガンに掲げ、①地域事業者の経営支援②部会・

委員会活動の活性化（商業部会、工業部会、建設業部会、金融財務業部会、観光環衛業部会、交通運輸業部会、文化産業部会、運営委員会、会員サービス委員会、産業振興対策委員会、情報化委員会、観光委員会）③運営基盤の強化など重点事項を精力

的に展開したことが報告されました。また、これら事業推進に伴う一般会計と4特別会計（中小企業相談所、法定台帳関係費、特定退職金共済、退職給与積立金）で、収支決算を審議し、全議案とも原案通り承認しました。



### 会頭挨拶の概要

本年5月には、コロナウイルス感染症の分類が5類に緩和され、社会活動も少しずつ正常化されてまいりました。皆様の各業界や団体でも、総会ははじめ各種事業が開催されるなど、コロナ前の状況に戻りつつあり、お忙しい時期を過ぎされたことと存じます。

そうしたなか、全体的な経済の状況については、好転の兆しが見られるものの、エネルギー価格をはじめ、物価の高騰や賃上げへの対処など、多くの課題に直面しており、企業経営も難しい状況にあります。

当日立市におきましては、産業構造をはじめ経済環境の変化などで、きびしい状況が続いてまいりましたが、新たな力となる企業の参入や、日立駅前地区の大型商業施設が整備されるなど、今後の地域振興に向け基盤が整ってまいりました。

私たち、商工会議所といたしましても、社会的立場と役割を自覚し、関係の皆様と一

丸となって、同じ方向を向いて進んでまいりたいと思っております。日立商工会議所の事業運営では、基本となる会員事業所への巡回・窓口相談事業に力を注いでまいりました。また、インボイス制度や持続的な事業経営に向け、特色のある事業に取り組みました。部会、委員会活動では、事業実施が難しい時期もありましたが、消費喚起や生産性向上、脱炭素への取り組みや視察事業を実施してまいりました。役員議員の皆さんの経験豊富で慎重な判断のもと、従来よりも活動的な1年とすることができ、概ね計画通りの事業運営と予算の執行ができたものと思っております。

今後の地域経済の活性化につぎましては、日立市をはじめ、議会や、企業、市民の皆様と連携をはかりながら、会員をはじめとする企業の発展と地域の活性化に向けて、日立商工会議所の総力をあげて取り組んで参る所存ですので、今後とも、関係各位の皆様のご理解ご協力を賜われますようお願い申し上げます。



# 令和4年度に実施した主な事業



新卒高校生就職採用要望活動



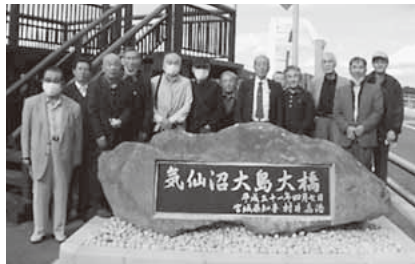
臨時議員総会  
令和4年期役員選任



創業塾開講



交通運輸業部会  
クルマの先端技術展視察



建設業部会  
先進地視察研修会



観光委員会  
ふるさと日立検定公式テキストブック改訂版発行

## 1. 地域事業者の経営支援

「コロナ対策支援の推進、中小企業相談所機能の強化、企業のデジタル化推進支援、公的融資・補助制度の利用啓発、事業継続・創業の支援強化」

## 2. 部会・委員会活動の活発化

### 《部会》

**商業部会**「商業環境の支援強化、デジタル化の研究推進」

**工業部会**「生産性向上取組支援、ビジネスチャンス拡大への取組支援」

**建設業部会**「労働環境変化への課題研究、先進技術工法等の情報提供」

**金融財務業部会**「制度改正等の専門的情報提供推進、業界課題の共有化促進」

**観光環衛業部会**「賑わい創出事業の実施、防犯に向けた関連機関との連携強化」

**交通運輸業部会**「共通課題の研究と情報提供拡充、部会員の交流促進」

**文化産業部会**「部会員相互の情報収集推進、先進・成功事例の研修」

### 《委員会》

**運営委員会**「組織財政基盤強化に関する研究と地域要望事項の検討」

**会員サービス委員会**「会員交流事業の実施・健康経営取組支援、各種検定事業の拡充」

**産業振興対策委員会**「地域産業振興に向けた取組策の研究と提言活動の推進」

**情報化委員会**「会員並びに市民に対しての情報発信の調査研究」

**観光委員会**「ふるさと日立検定テキスト改訂版の発刊、観光振興策の研究」

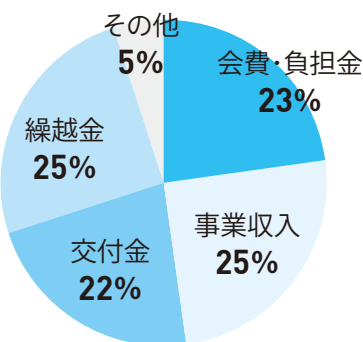
### 《特別事業》

**選挙委員会**「令和4年期議員選任選挙の実施」

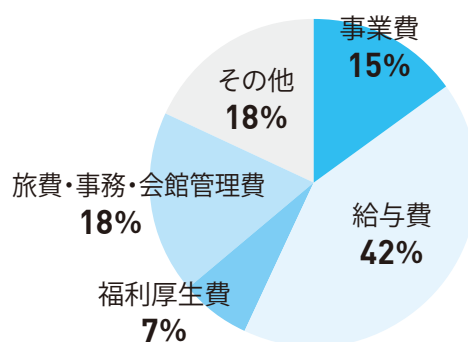
## 3. 運営基盤の強化

「組織・財政基盤の強化、提言要望活動の推進、関係機関との連携強化、女性会、青年部活動支援」

### 令和4年度収入の部



### 令和4年度支出の部





## 7月の常議員会

7月11日、常議員会を開催しました。当日は、茨城県民生活環境部長林利家氏並びに、資源循環推進課新最終処分場整備室長の綿引瑞子氏をゲストスピーカーにお招きし、『県民生活環境部の施策について』をテーマに、日立市に新設される最終処分場について説明がありました。協議事項としては、6月の新入会員(別記)、第144回通常議員総会に付議する議案、日立市・日立商工会議所・(株)良品計画・いばらきコープ生活協同組合による包括連携に関する協定書締結を承認しました。報告事項

では、鈴木専務理事から「議員の辞職」について、松山建設業部会長から、「日立市都市整備計画研修会」、白土会員サービス委員長から「第64回日立商工会議所会頭杯野球大会」についての実施報告がありました。

## 新入会員紹介(別記)

- 有限会社久慈管工(管工事業) 大みか町4-30-17
  - 飛田電機(設備工事業) 田尻町1-19-1
  - 田中建築(塗装業) 久慈町5-28-10-2
  - 小室塗総株式会社(塗装業) 森山町1-32-19-201
  - 株式会社カナモト日立営業所(総合建設業) 留町字原後1054-1
  - 旅館須賀屋(旅館業) 久慈町3-3-17
  - 株式会社茨城新聞社日立支社(情報通信業) 助川町1-14-12
  - PINK(英語教室) 日高町5-2-16
- ソニー生命保険株式会社東京中央LPC第5支社(保険業)  
東京都千代田区大手町1-7-2

## 特別会員紹介

## 地域包括連携に関する協定書を締結

7月27日、日立市、日立商工会議所、株式会社良品計画、いばらきコープ生活協同組合の4者により、地域包括連携協定を締結しました。この連携協定は、日立市の様々な問題に迅速かつ適切に対応しながら、日立市の活性化と市民の安心安全な暮らしの確保に向けて、今後の具体的な取組を進めるための指針をまとめたもので、①日立駅前地区の活性化に関する事②地域福祉に関する事③地域資源の循環、環境対策に関する事④子育てや次世代育成支援に関する事⑤地域の安心安全に関する事⑥日立市全体の活性化に関する事の6項目について、4者が連携し、それぞれの強みを活かしながら同じ方向を向いて取り組んでいくこととしています。



アクサ生命は商工会議所と協力して健康経営を推進しています。



～さらなる企業の発展のために～

アクサ生命

## 健康経営に取り組みませんか？

健康経営は、アクサ生命がサポートします！

健康経営優良法人認定の  
申請までサポート

お問合せ先

アクサ生命保険株式会社

日立営業所 ☎ 0294-21-5387

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。



## 日立商工会議所の動き 7月

- |       |   |       |  |
|-------|---|-------|--|
| 7月2日  | 第64回会頭杯野球大会決勝戦・表彰式                            | 7月14日 | 工業部会議員協議会  |
| 7月3日  | 観光環衛業部会議員協議会                                  | 7月18日 | 経営革新セミナー個別支援<br>(他1回 25日)  |
| 7月4日  | 経営革新セミナー(他1回 14日)                             | 7月21日 | 運営委員会  |
| 7月5日  | 正副会頭会議<br>正副会頭と青年部正副会長との懇談会                   | 7月23日 | あきんど探検少年団入団式・活動<br>(他3回 26日・27日・31日)                                     |
| 7月10日 | 法律無料相談  | 7月26日 | 第144回通常議員総会  |
| 7月11日 | 常議員会<br>日立市地域ブランド推進協議会                        | 7月27日 | 文化産業部会視察<br>日立市・当所・(株)良品計画・いばらきコープ<br>生活(協)との地域包括連携協定締結式<br>ものづくり探検少年団活動 |
| 7月12日 | 交通運輸業部会講習会・個別相談会<br>観光委員会と日立市観光物産課との<br>意見交換会 | 7月31日 | 中小企業119派遣事業  |
| 7月13日 | 制度改正等の課題解決環境整備事業<br>セミナー                      |       |  |

### 交通 運輸業部会

### 講習会・個別相談会を開催

7月12日、交通運輸業部会ではドライバーの時間外労働が制限される『2024年問題』の働き方改革について講習会を開催。社会保険労務士の皆川雅彦氏から、改正の概要とその対策として業務の改善が必要であるとの話がありました。また講習会終了後の個別相談では、それぞれの会社の課題について具体的なアドバイスをもらうなど、充実した内容となりました。



### 文化 産業部会

### 視察研修を実施

7月27日、文化産業部会では、身近な企業の理念や活動を学び、事業を通して部会員同士の会員交流や情報交換を図るため、『げんでん東海テラパーク(日本原子力発電(株))』と『日立オリジンパーク(株)日立製作所』をめぐる視察研修を実施しました。両施設ともガイドによる丁寧な説明があり、参加者は、熱心に耳を傾けていました。



## 茨城県外国人材支援センターのご案内

茨城県は県内企業の人手不足の解消を図るため、平成31年4月に外国人材と企業を結ぶ機関として茨城県外国人材支援センターを創設し、外国人材の雇用と定着等に関する相談に対応しています。

専門のアドバイザーが常駐し、外国人材の採用・雇用等に関する相談や日本語教育等の各種支援をはじめ特定技能制度の活用等に係る相談にも応じています。

一方、外国人材を受け入れる際に重要な在留資格の説明や従業員向けの異文化理解と外国人材定着のための勉強会、セミナー等を実施しています。行政書士や社会保険労務士による在留資格の申請手続きと労働関係法令、外国人材を受け入れるための社内規定の見直し、外国人従業員との労使トラブル防止等の無料相談も行っています。

同センターでは、外国人材の受け入れを検討している企業や外国人従業員で悩んでいる企業からの気軽な相談を呼び掛けています。

詳細、問い合わせは **茨城県外国人材支援センター** ☎029(239)3304。

## 「第45回日立市産業祭 出展者募集中！」

申し込み8月31日締め切り。詳しくは、会議所ホームページ新着情報からご覧ください。



(会議所)

## 表紙1P ふるさと日立検定 問題に挑戦! の解答は……

答 『昭和34年(1959年)』でした!いかがでしたか?

解説 (ふるさと日立検定公式テキストブック改訂版より)



## P153 産業③ 日立港

日立港は、昭和34年3000t岸壁を擁する第1埠頭が完成し、大型発電機などが移出されました。関連して久慈川河口の直進化工事が行われ、昭和53年度に完成。旧久慈川河口は埋め立てられ、公共利用を基本に商業用地と住宅用地となり、景観は大きく変わりました。また、防波堤や埠頭の拡大・整備が進められ、第1、第2、第4、第5、第3埠頭(※完成順)が完成、それとともに防波堤をはじめ係留施設、航路標識、倉庫、工場用地などが整備されます。昭和35年から37年には付近に石油会社の油槽所が建設され、昭和53年には茨城県内の石油需要の4割を賄いました。また木材輸入指定港となり、それに伴って貯木場が整備され、昭和55年に完成した第5埠頭は木材専用埠頭とされました。



昭和35年当時の久慈川河口(日立市郷土博物館所蔵)



茨城港日立港区

日立港に出入りする貨物は、昭和35年の6万t余りから、昭和48年のオイルショックの後10年ほどを除いて増加、平成20年には597万tとなりました。その後平成23年の東日本大震災で落ち込みましたが、令和2年は739万t、入港船舶は1544隻(外航船226隻、内航船1318隻)でした。北関東地域の海上物流の拠点となっている他、メルセデスベンツの国内最大の輸入港として、また日産自動車の主にヨーロッパ向けの完成自動車物流拠点としての機能が高まっています。

平成28年3月には、第5埠頭地区に、今後の更なる都市ガス需要の増加への対応及び関東圏全域の供給安定性の向上等を目的にLNG(液化天然ガス)の貯蔵、都市ガス製造設備が整備されました。海上には、海外からLNGを運搬してくる船舶を受け入れる

ための大型栈橋があり、約14haの敷地には地上式では世界最大級の大きさとなるLNG貯蔵タンク(23万kl)が整備されています。なお、タンクの屋根には日立市の花である『さくら』(1号タンク:日立紅寒桜、2号タンク:ひたち雅)が描かれています。茨城～栃木幹線、茨城幹線も整備され、北関東へのエネルギー供給基地として、重要な役割を果たしています。

『ふるさと日立検定  
公式テキストブック改訂版』  
好評発売中です!

定価(税込)1,000円

【購入できる場所】

- 日立商工会議所
- ぶらっと日立(日立駅)
- 郷土博物館

